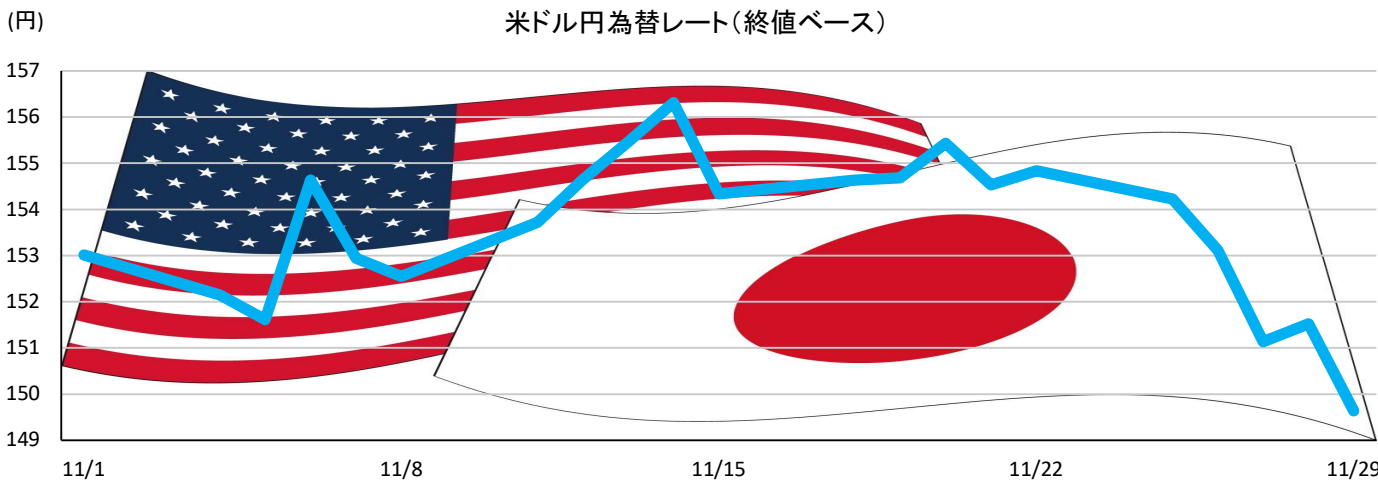


MONTHLY REPORT

先月の振り返り：11月のドル円相場は156円後半～149円半ばで推移。米大統領選挙でトランプ氏が勝利しドル買いが進んだが、米FOMCで利下げが発表されると一転してドル売りとなる荒い動き。しかし共和党が米大統領、上院、下院の全てで勝利したと伝わりトランプ氏の政策が実行できる可能性が広がったことに加え、パウエルFRB議長が利下げに慎重な姿勢を示したことでドル買いが一段と強まり、ドル円は約4ヵ月ぶりに156円台に達した。その後は、円安けん制発言やウクライナを巡る地政学リスクの高まりを受けたドル売りと良好な米経済指標発表を受けたドル買いが交錯していたが、トランプ氏が対中国などに追加関税を課す方針を表明したことや植田日銀総裁が、利上げの時期は近づいている、と発言したことを受けて円高ドル安が強まりドル円は150円を割り込んだ。



MARKET REVIEW

貿易戦争：トランプ氏は貿易赤字を損失と捉えて、自国産業を保護するため関税を強化する方針は以前から変わらない。そして中国、カナダ、メキシコについて追加関税を課すことを表明したことで、対抗して各国も報復関税を課すと表明するなど、貿易戦争の再燃が警戒されている。今のところ対日本は含まれていないが、カナダとメキシコについて特に注視したい。カナダ、メキシコから米国へ輸出する際に一定の条件を満たせば関税がかからなかったことから、関連会社を含めて多くの日本の自動車メーカーが生産拠点としており、関税が課されると事業環境が一変するため、影響が懸念される。大統領就任まで約1ヶ月ほどとなったが、今後もトランプ氏の発言に世界は振り回されていきそうだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
12 / 17 (火)	22 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
12 / 19 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
12 / 19 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
12 / 19 (木)	22 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
12 / 25 (水)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
1 / 10 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
1 / 15 (水)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。